

令和6年度全国学力・学習状況調査における

北九州市立 柳西 中学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、3年生を対象として、令和6年4月18日（木）に、「教科（国語、数学）に関する調査」、文部科学省が指定した日（4月10日から4月30日の間）に「生徒質問調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 調査内容

(1) 教科に関する調査（国語、数学）

教科に関する調査（国語、数学）

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

※調査では、上記①と②を一体的に問うこととする。

(2) 生徒質問調査

生徒質問調査

○学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

3. 教科に関する調査結果の概要

(1) 全国・本市の学力調査（国語、数学）の結果

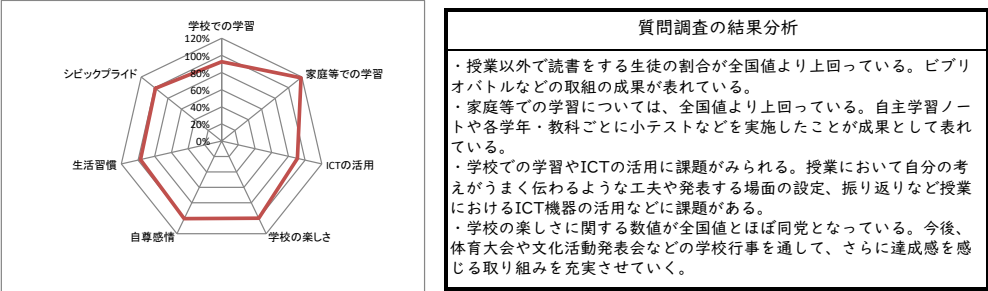
本年度の結果	国語		数学	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本市	8.5	57	7.8	49
全国	8.7	58	8.4	53

(2) 本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な傾向や特徴など	「情報の扱い方に関する事項」や「我が国の言語文化に関する事項」の平均正答率が全国平均正答率を上回っていた。「話すこと・聞くこと」など思考力・判断力・表現力等に関する問題の平均正答率は全国平均正答率をやや下回っていた。	全国平均正答率との比較 上回っている
	よくできた問題	意見と根拠など情報と情報の関係についての理解を問う問題	
	努力が必要な問題	短歌の内容や表現についての理解を問う問題	

数学	全体的な傾向や特徴など	「データの活用」「図形」の領域で、平均正答率が全国平均正答率を上回っていた。「数と式」、「関数」の領域で、平均正答率は全国平均正答率をやや下回っていた。	全国平均正答率との比較 上回っている
	よくできた問題	等式を目的に応じて変形する問題。	
	努力が必要な問題	与えられたデータから最頻値を求めることができるか問う問題。	

4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問調査結果の概要



5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

- ① 教科に関する取組
- ・各教科において「話し合い活動」を通じて、自分の考えを深めたり広めたりする授業を行う。
- ・知識・技能に関する学力を向上するために、朝自習などの取組を全校で行う。
- ・授業における成果物の提出や振り返りにGIGA端末を活用する。
- ② 家庭生活習慣等に関する取組
- ・図書委員会を中心とした読書を推奨する活動（ビブリアバトル）を実施する。
- ・家庭学習の定着のために、自学自主ノートや定期考査前の学習計画表を実施し。自学自主ノートについては、観点別に良いノートを称賛し、小中連携し小学校でも掲示する。